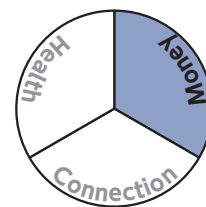


# 各国の主要政治・経済イベント予定 (4月4日時点)



## 5月の各国主要政治・経済イベント

	日本	米国	グローバル
上旬		4月ISM製造業景況指数(2日) FOMC(3-4日) 4月ISM非製造業景況指数(4日) 4月雇用統計(6日)	(英)金融政策委員会(5日) (中)4月貿易統計(9日)
中旬	1-3月期GDP1次速報(18日) 4月貿易統計(19日)	4月消費者物価指数(11日) 4月小売売上高(17日)	(欧)1-3月期GDP改定値(17日) (欧)4月消費者物価指数(18日) G7財務相・中央銀行総裁会議 (18-20日)
下旬	4月消費者物価指数(20日) 4月鉱工業指数(31日)	1-3月期GDP改定値(26日) 4月個人消費・所得(27日)	世界経済フォーラム年次総会 (22-26日)

(注)作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。

## 5月の政治・経済イベント「フィリピン大統領選挙」

フィリピンでは、5月9日に現職のドゥテルテ大統領の任期満了に伴う大統領選挙が行われます。主な候補者は、故マルコス元大統領の長男のフェルディナンド・マルコス氏、現職の副大統領であるレニー・ロブレド氏、現職マニラ市長のフランシスコ・ドマゴソ氏、現職上院議員のマニー・パッキャオ氏となっており、ドゥテルテ大統領が進めた強硬な麻薬取締りの是非や中国との関係などが争点となっています。各種世論調査では、ドゥテルテ大統領の政策を踏襲するとみられているマルコス氏が支持率でトップを走り、現職の副大統領ながらドゥテルテ大統領の政策に批判的なロブレド氏が追う形となっています。3月22日に与党であるPDPラバンから表明されたマルコス氏への支持も追い風になると見られています。

副大統領の選出についても注目されます。フィリピンでは大統領と副大統領はそれぞれ国民から直接選挙で選出されるため、同じ政権でありながら大統領と副大統領の意見が異なるということが起こります。ドゥテルテ政権においても、ドゥテルテ大統領とロブレド副大統領は別の政党からの選出であり、意見の対立が見られました。今回の副大統領選では、ドゥテルテ大統領の娘で現職のダバオ市長であるサラ・ドゥテルテ氏が出馬しており、マルコス氏と選挙戦での連携が表明されています。マルコス家はフィリピン北部を基盤としており、ドゥテルテ家は南部を基盤としているため、補完関係を構築することが可能になることから、大統領選はマルコス氏、副大統領選はサラ氏が優位に立つとの指摘も多くなされています。

(主任エコノミスト：小池 理人)